



分 析

平成30年度採用（一般職化学）

業務部 統括分析官付

税関を志望したきっかけ

某科捜研ドラマの影響で化学に興味を持ち、大学・大学院でも化学を専攻してきました。漠然と科学捜査のようなものに携わりたいと考えていたところ、官庁訪問などで「税関にも薬物分析の仕事がある」と聞いたことが、税関を志望するきっかけになりました。

現在従事している仕事の内容、やりがい、税関の魅力

私は神戸税関の分析部門で勤務しており、税関で摘発された覚醒剤や大麻など不正薬物の鑑定や輸入貨物の分析に従事しています。

実験室の機器を用いて薬物の定性・定量分析を行うわけですが、ここでは学生時代に学んだ化学の知識や実験技術が活かしています。とはいえ、日々学ばなければならないことも多く、勉強は欠かせません。鑑定が終わり、自身の名前を記した鑑定書を発行するときには、自分が日本の治安に貢献していることを実感します

また、輸出入貨物の分析もしています。日本に貨物を輸入する際には関税という税金がかかり、貨物によっては特定の性質の有無・特定成分の割合などの基準で関税の税率が変わるからです。実務としては食品分析や石油製品などの分析を行っており、輸出入の秩序に貢献できるのもこの仕事の魅力です。



加えて、分析業務からは少し離れますが、税関はODA（政府開発援助）の一環で開発途上国との海外協力を行っており、私はこの活動にも参加しています。途上国税関の職員に対する英語での講義や、実際に神戸税関にお越しになった方のための分析室案内などを行っています。

受験生へのメッセージ

税関は警察、麻薬取締部、海上保安庁と並んで薬物分析を行う公官庁であり、理系人材が求められています。また、税関には分析部門の他にも科学的な専門知識を必要とする部署があり、多くの部署で理系出身者が活躍しています。ぜひ科学の力で日本の治安に貢献してみませんか？

